

## 生活単元学習学習指導案

あさひ子学級1組 7名 指導者 神田 圭  
あさひ子学級2組 2名 指導者 大河原 徹也

本授業は、以下の検証を行うものである。

- 単元導入時におけるシミュレーション活動によって、今後の活動に見通しをもち、意欲的に学習しようとする姿が見られたか。

### 1 単 元 ふるさと かがしま

#### 2 単元の目標

桜島大根の栽培活動を通して、故郷のよさや特徴、並びに季節の変化や収穫の喜びを感じるとともに、友達と協力して一つのことをやり遂げ、学んだことを表現できるよさや楽しさを実感できる。

#### 3 単元の評価規準

- 桜島大根の栽培活動や調理、発表などに意欲的に取り組もうとする。 【関心・意欲・態度】
- 収穫の際や調理、及び現地へ移動する時など、どのようなことに気を付けて活動したらよいか考えることができる。 【思考・判断】
- 栽培時から収穫時に大根を傷つけないようにしたり、収穫の喜びを絵や文、音声言語、身体表現などで表したりすることができる。 【技能・表現】
- 桜島への移動手段や収穫の喜びを知り、桜島大根の料理を知ることができる。 【知識・理解】

#### 4 単元について

##### (1) 単元の価値

「今、鹿児島が熱い。」昨年の篤姫ブームや鹿児島黒豚、黒牛などの鹿児島ブランドの食材が全国で評判になるなど、全国で鹿児島の知名度が上昇している。そこに住むわたしたちは、もっと郷土に誇りをもって過ごしていきたい。

しかし、本学級の子どもたちは、興味・関心のもち方やその障害の特性などにより、この郷土の素晴らしさについて実感しているとは言い難い。ただし、子どもたちはこれまでに、さつまいもや長島の馬鈴薯の栽培活動を通して、鹿児島ブランドの食材に触れ、育てる楽しさを味わっている。この経験を生かし、桜島の風土でのみ、そのおいしさや大きさが栽培可能な「桜島大根」を育てる活動を通して、故郷「鹿児島」の素晴らしさを子どもたちなりに実感できるものと考えた。

具体的には、桜島大根の栽培に関わっている方との交流や桜島に赴いての栽培活動を行う。また、桜島への移動を通して、鹿児島の地形の変化や特徴をつかむなどの活動を行う。そして、栽培した桜島大根は給食の献立に取り入れてもらったり、学習した内容をまとめて地域へ発信したりする。

このような活動を通して、子どもたちは収穫の喜びを味わうことができるだけでなく、学んだことを十分に活用して自分たちのがんばり（学習の成果）を表現し、大勢の人から認めてもらうことで自己達成感や自己有用感を存分に感じるることができるものと考えた。そして、郷土「鹿児島」のよさを五感を通して感じ取ることができるものと考えた。

##### (2) 子どもの実態と指導

学級名	あ さ ひ 子 1 組							あさひ子2組	
児童名	A児(1年)	B児(1年)	C児(2年)	D児(2年)	E児(2年)	F児(3年)	G児(4年)	H児(1年)	I児(4年)
栽培活動に対する興味や関心	教師に言われるとすぐに水かけをすることができる。	教師に尋ねて水かけや雑草抜きをすることができる。	水かけが好きで、葉に水がかからないようにできる。	教師に言われると水かけをすることができる。	栽培活動にはまだ興味を示していない。	教師に言われるとお世話をすることができる。	雑草を選んで抜くことができ、水かけをよくする。	教師が付き添って、水をかけることができる。	水かけや雑草抜きを好んでおり、進んで活動する。
教師とのやりとりや表現の方法	「これ何？」などよく質問をする。人前で話す時は恥ずかしかる。	質問に対して二語文程度で答えるなど簡単な会話ができる。	模倣が多い。表現したいことを文字で書き表すことができる。	模倣が多いが、「どうぞ」「ありがとう」などのやりとりができる。	質問に対して答えることは少ない。「だめ」と言うことができる。	二者選択ができる。絵や文字で表現することができる。	簡単な日常会話ができる。文字で気持ちを書くことができる。	日常会話ができる。文字で自分の思いを書くことができる。	日常会話ができる。絵や文字で自分の思いを書くことができる。

「導入段階」においては、桜島の様子や桜島大根をVTRで提示することで現地に対する興味や関心を高め、活動への意欲を喚起したい。そして、子どもたちが今後学習することをシミュレーションすることで、活動への見通しをもたせ、今後、意欲的に活動できるようにしたい。具体的には、桜島まで移動するためのフェリー乗船、植ええや水かけ及び収穫などの栽培活動、桜島大根の重さ比べ、学習したことを発表する会の告知などである。これらの様子を撮影した写真は活動計画表に貼り付け、今後の活動で、随時、導入時の感情なども思い出そうことができるようにし、活動意欲の維持や向上に役立てたい。

「展開段階」は、長期間の栽培活動を展開する。桜島へ移動し、桜島大根栽培に関わる方々との交流を重ねる。移動に際しても、子どもの実態に応じて地名を覚えたり、桜島の地形の特徴などを考えることができるようにし、なぜ桜島であのような大きくておいしい大根が育つのかを考えることができるようにしたい。収穫後はその大きさや重さを実感できるようにするために、自分との体重比較や桜島大根同士の大きさ比べなどの活動をする。また、収穫した桜島大根は家に持ち帰るだけでなく、校内に展示したり給食の献立に採用してもらったりして、学習の成果を全校に発信する。なお、活動の様子は後に振り返ることができるようにVTRなどで記録をする。

「終末段階」においては、これまでの活動を写真やVTRを視聴して振り返り、収穫の喜びや学んだことを発表する時間を設定する。発表の方法は絵や文、及び身体表現など、子どもたちなりの自由な表現を大切に、できるだけ多くの友達や先生、及び地域の方々に見てもらえるようにする。

### 5 指導計画（総時数27時間）

過程	主な学習活動	評価基準					時間
		A 児	B 児	C 児	D 児	E 児	
導入	1 学習の見通しをもつ。 (本時) 	<input type="checkbox"/> : やりたい活動名のカードを選択することができる。	<input type="checkbox"/> : やりたい活動名を発表することができる。	<input type="checkbox"/> : 好きな活動名のカードを触ろうとすることができる。	<input type="checkbox"/> : 好きな活動名のカードを選択することができる。	<input type="checkbox"/> : 学習に参加することができる。	1
		<input type="checkbox"/> : やりたい活動名のカードを選択しようとすることができる。	<input type="checkbox"/> : やりたい活動や今後の計画を発表することができる。	<input type="checkbox"/> : やりたい活動名のカードを選択し発表することができる。	<input type="checkbox"/> : やりたい活動や今後の計画を発表することができる。	<input type="checkbox"/> : やりたいことを選択することができたか。	
展開	2 フェリーで桜島へ移動し、種を植える。 3 桜島大根を収穫する。 4 重さ比べをする。 5 感謝の手紙を書く。 6 桜島大根を使った給食の献立を考える。  	<input type="checkbox"/> : 離席せずに参加することができる。 <input type="checkbox"/> : 必要な交通手段を選択することができる。 <input type="checkbox"/> : 桜島大根を掘り、絵を中心にまとめることができる。 <input type="checkbox"/> : 桜島大根の名称や献立名が分かる。	<input type="checkbox"/> : 次の活動名を言うことができる。 <input type="checkbox"/> : 必要な交通手段を選択することができる。 <input type="checkbox"/> : 桜島大根を掘り、絵を中心にまとめることができる。 <input type="checkbox"/> : 交通手段名や献立名が分かる。	<input type="checkbox"/> : 呼びかけで参加することができる。 <input type="checkbox"/> : 植え方を思い返すことができる。 <input type="checkbox"/> : 桜島大根を掘り文字を中心にまとめることができる。 <input type="checkbox"/> : 交通手段名や桜島大根の名称が分かる。	<input type="checkbox"/> : 活動に集中することができる。 <input type="checkbox"/> : 移動で気を付けることができる。 <input type="checkbox"/> : 桜島大根を掘り絵を中心にまとめることができる。 <input type="checkbox"/> : 桜島大根の名称や献立名が分かる。	<input type="checkbox"/> : 活動に参加し、桜島大根を使った給食を食べることができる。 <input type="checkbox"/> : 桜島大根に触ることができる。	20
		<input type="checkbox"/> : 自ら次の活動に移ることができる。 <input type="checkbox"/> : 必要な交通手段を選択することができる。 <input type="checkbox"/> : 桜島大根を掘り絵を中心にまとめることができる。 <input type="checkbox"/> : 桜島大根の名称や献立名が分かる。	<input type="checkbox"/> : 次の活動を言うことができる。 <input type="checkbox"/> : 必要な交通手段や栽培の注意点を言うことができる。 <input type="checkbox"/> : 絵や文字で学習したことをまとめることができる。 <input type="checkbox"/> : 地域名や献立名が分かる。	<input type="checkbox"/> : 落ち着いて参加しようとする。 <input type="checkbox"/> : 必要な交通手段や栽培の注意点を言うことができる。 <input type="checkbox"/> : 桜島大根を丁寧に掘り、文字でまとめることができる。 <input type="checkbox"/> : 桜島大根の名称や献立名が分かる。	<input type="checkbox"/> : 次の活動を言うことができる。 <input type="checkbox"/> : 必要な運賃や栽培の注意点を言うことができる。 <input type="checkbox"/> : 桜島大根を掘り文字でまとめることができる。 <input type="checkbox"/> : 地域名や献立名が分かる。	<input type="checkbox"/> : 学習の見通しをもち、意欲的に活動することができたか。	
終末	7 これまでのまとめをする。 8 「ふるさとごしま発表会」をする。 	<input type="checkbox"/> : 楽しかったことを絵でかき、発表することができる。	<input type="checkbox"/> : 楽しかったことを絵でかき、発表することができる。	<input type="checkbox"/> : 楽しかった活動の写真を選んで取ることができる。	<input type="checkbox"/> : 楽しかった活動の写真を選んで絵でかくことができる。	<input type="checkbox"/> : 友達の発表を聞くことができる。	6
		<input type="checkbox"/> : 楽しかった活動を選択し、その活動名を言ったり絵にかいたり行動で示したりすることができたか。					
		<input type="checkbox"/> : 楽しかった活動の写真をを選び、絵でかくことができる。	<input type="checkbox"/> : 学習したことを文字や絵でまとめ、発表することができる。	<input type="checkbox"/> : 学習したことを文字や絵でまとめ、発表することができる。	<input type="checkbox"/> : 学習したことを文字や絵でまとめ、発表することができる。		

## 6 本 時 (1/27)

### (1) 目 標

桜島大根の種を植える活動から今後の活動への意欲をもつことができる。

### (2) 評価規準

A児(1年)	B児(1年)	C児(2年)	D児(2年)	E児(2年)	F児(3年)	G児(4年)	H児(1年)	I児(4年)
やりたい活動名のカードを選択することができる。	やりたい活動名を発表することができる。	好きな活動名のカードを触ろうとすることができる。	好きな活動名のカードを選択することができる。	学習に参加することができる。	やりたい活動名のカードを選択しようとするすることができる。	やりたい活動や今後の計画を発表することができる。	やりたい活動のカードを選択し発表することができる。	やりたい活動や今後の計画を発表することができる。
【技・表】	【技・表】	【関・意・態】	【技・表】	【関・意・態】	【関・意・態】	【技・表】	【技・表】	【技・表】

### (3) 指導に当たって

子どもたちが初めて栽培する桜島大根は、単に食材としてだけでなく、自分たちの故郷のよさを再発見できるものであり、また、自分を表現し、相手に認めてもらうことのできる可能性を秘めたものであることを授業全体を通して確認したい。そのためにも、桜島大根栽培に関わった方や給食室の職員の話聞き、その他の学習内容にも意欲をもって活動できるように、シミュレーション活動を設定して、体験したことによる活動への意欲が学習の見通しとともに持続できるようにしたい。

### (4) 実 際

[ ] 子どもの意識

☞ 教師の手立て

※評価

時	主な学習活動と教師の手立て・評価
10分	<p>1 VTRを視聴する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ここはどこだろう。</li> <li>・桜島だ。</li> <li>・大きな桜島大根だな。</li> <li>・わたしたちも育ててみたいな。</li> </ul> <p>桜島の様子を撮影したVTRを見ることで、本時の学習の見通しをもち、めあてを焦点化できるようにする。</p> <p>子ども一人一人がめあてを読む活動を設定し、「さくらじまだいこんはかせ」の意味を押さえることで、本時は桜島大根の収穫に向けての導入場面であることが分かり、最終的に学んだことを発表する場面があることが分かるようにする。</p>
25分	<p>2 本時のめあてをつかむ。</p> <p>さくらじまだいこんはかせになるまでの けいかくをたてよう。</p> <p>3 今後の活動をシミュレーションをする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 桜島へ行く。</li> <li>(2) 種を植えて水かけをする。</li> <li>(3) 桜島大根を収穫する。</li> <li>(4) 重さ比べをする。</li> <li>(5) 給食の献立を考える。</li> </ol> <p>桜島大根栽培に関わった方や、給食に携わる職員の話聞く場面を設定することで、自分だけでなく周りの人々もこの学習に期待を寄せていることを実感できるようにする。</p> <p>シミュレーションしたことを黒板に貼ることで、月に沿った学習の見通しをもつことができようにし、楽しみだと思った活動を選択し、自信をもって発表できるようにする。</p> <p>※ 楽しみな活動を発表することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 達成できた子どもには「他にはないかな。」などのように質問し、興味の幅を広げていく。</li> <li>○ 達成できなかった子どもには、5つのコーナーへ再度行き、楽しみなコーナーへ行ったことを賞賛する。</li> </ul>
10分	<p>4 今後の計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まずは桜島までの運賃を調べよう。</li> <li>・育て方も図書室で調べたり、〇〇先生に聞いてみよう。</li> <li>・楽しみだな。やってみたいな。</li> </ul> <p>「さくらじまだいこんはかせ」になって、たくさんのひとにおしえるぞ。</p> <p>発表したこと以外にやりたいことなどは、次の授業からみんなでじっくり考えることができることを告げ、本時の頑張りを賞賛することで、今後の学習への意欲を喚起する。</p>